

信州大学医学部附属病院にて

全身麻酔下で手術をされた患者様またはご家族の方へ

「特定行為研修修了看護師による動脈留置カテーテル確保が麻酔導入時間に与える影響」に関する臨床研究を実施しております。

信州大学医学部生命科学・医学系研究倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	特定行為研修修了看護師による動脈留置カテーテル確保が麻酔導入時間に与える影響
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 看護部
研究責任者(職名)	手術室 渡邊雄平
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	本研究は、術中麻酔管理下において動脈留置カテーテル確保を実施する体制(特定行為研修修了看護師による実施と医師による実施)の違いが、麻酔導入開始から麻酔完了までの時間に与える影響を明らかにすることを目的とします。 本研究により、特定行為研修修了看護師による動脈留置カテーテル確保が麻酔導入過程の効率化に与える影響が明らかになることが期待されます。
研究の対象となる方	2026年1月1日から2026年5月31日までの期間に、信州大学医学部附属病院手術部において全身麻酔下で手術を受け、麻酔導入過程で動脈留置カテーテル確保が実施された方。
利用する診療記録	電子カルテ、麻酔記録、手術記録より以下の情報を利用します。 年齢、性別、ASA分類、診療科、術式、予定／緊急の別、麻酔方法、麻酔導入開始時刻、麻酔完了時刻、合併症の有無、医師による追加介入の有無、動脈留置カテーテル確保の実施者(看護師／医師)
研究方法	過去の診療記録より上記の情報を収集し、動脈留置カテーテル確保の実施体制の違いによる麻酔導入開始から麻酔完了までの時間の差について検討します。併せて、合併症、医師による追加介入の有無についても記述します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):手術部 渡邊雄平 電話:0263-37-2839

診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。2026 年 7 月 31 日までであれば、いつでもお断りいただけます。期限を過ぎてのお申し出は、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。